

渋沢栄一

物語

[第31回]

帰一協会を設立

韓国が併合される以前の明治四十二年（一九〇九）十一月、韓国における第一銀行の業務は、韓国の中央銀行として発足する韓国銀行に引き継がれます。初代韓国統監伊藤博文の要請を受けて、栄一がこれに応えたものでした。第一銀行の果たした役割はここに終りましたが、とりわけ数百年來混亂を極めていた韓国の貨幣を整理統一した功績は絶大でした。

同四十五年（一九一〇）六月、栄一は、成瀬仁蔵・森村市左衛門・高楠順次郎・井上哲次郎・浮田利民・姉崎正治などとともに、帰一協会を設立します。思想界の統一、人種や宗教の違いを越えて人類融和の世界を目指すものでした。「もし我々の一代で行かぬは二代でも三代でも続けて行こう」

とは栄一の言葉です。

大正二年（一九一三）四月、栄一は、中野武宮・島田三郎らとともに日米同志会を組織し、会長となります。米国カリフォルニア州における日系移民排斥問題に対処するためでした。人種的偏見やアジアにおける日米関係の悪化に起因するものでした。

この年の十一月二十一日、徳川慶喜が死去します。すでに明治三十年（一八九八）には明治天皇と慶喜との謁見を実現し慶喜の名誉回復に努めて来た栄一ですが、



▲栄一の主君である徳川慶喜の伝記『徳川慶喜公伝』（渋沢栄一記念館蔵）



©渋沢史料館

明治二十六年（一八九四）に始められ途中頓挫の期間をへさみ、同四十年（一九〇七）より本格的な活動に入った慶喜の伝記編さん事業は進行途中でした。ようやく完成にこぎつけたのは慶喜の没後五年目にあたる大正六年（一九一七）のことです。その命日には、「徳川慶喜公伝」（主八巻）として墓前に供えることが出来ました。同書は現在では幕末維新史の必読文献となっています。

大正三年（一九一四）七月、第一次世界大戦が勃発。八月、日本はドイツに宣戦布告し、ドイツの中国における権益地であった山東省に出兵、これを占拠。さらに中国に対し、日本の権益拡大を主張する二十一か条の要求をつぎつけます。（文：新井慎二）

物語の手引き

- 『成瀬仁蔵』（1858 - 1919）
キリスト教牧師。女子高等教育の開拓者の1人で、日本女子大学の創設者。栄一の良き理解者で、雑司ヶ谷霊園にあるその墓碑に刻まれた言葉は、栄一の撰文ならびに書によるものです。
- 『森村市左衛門』（1839 - 1919）
森村財閥の創設者で、TOTOやノリタケなど日本のセラミック産業の創始者。
- 『中野武宮』（1848 - 1918）
政治家・事業家。栄一の後任で東京商業会議所の2代目会頭となりました。栄一とともに新会社の立ち上げや公益団体の設立などを数多く手掛けました。
- 『島田三郎』（1852 - 1923）
政治家・ジャーナリスト。足尾鋳毒事件などの救済運動にも尽力しました。

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。

深谷とくれば「やっぴねぎ！」



栗原統 実行委員長

『ネギの一大産地である深谷』、ネギのお祭りを作りたい』そんな熱い仲間が集まって結成されたのが、『深谷ねぎまつり実行委員会』（以下、実行委員会）です。

実行委員会のメンバーは、ネギの生産者から事業者、歌手や女子大学生まで多種多様。今月26日（日）の開催に向けて、日夜打ち合わせを重ねています。

ねぎまつりは、『深谷ねぎ』への感謝をテーマにした2部構成の催しで、1部は今年取れた『深谷ねぎ』を奉納する神事。2部は飲食店の出店やライブ・ダンスなどの、老若男女が楽しめる内容になっています。昨年1月に初開催。そのきっかけには、3年前、産・学・官の連携プロジェクトで生まれた『ゆめ☆たまご』の存在がありました。異業種の仲間が意見を

出し合い、『利きネギ深谷』や『深谷ねぎの丸焼きイベント（深谷カールソックス）』など新たな活動を続ける中で、メンバーの1人であった

た栗原さんは、これまでの集大成としてネギの大きなイベントを実現したいと仲間提案します。

「多くの人が賛同してくれて、初回からここまで大きなイベントになるとは思いませんでした。まっすくな白いネギが、たくさんのお土産で育つように、お祭りも多くの人の支えによって実現できるんです。実行委員会では本当にいろいろなアイデアが飛び交っています。今後は楽しみます。」と、栗原さん。

『深谷ねぎ』が束ねた熱い仲間は、ねぎまつりに向け前進し続けます。



▶今年も、1月26日（日）にJR深谷駅南口からすぐの瀧宮神社で開催します。

ふっかちゃんの日常から深谷が見えてくる

ふっか散歩



10 花園生涯学習センター編

平成25年12月2日にオープンしたばかりの、花園生涯学習センターに行ってきましたよ。この施設は、市内初の公民館と総合支所の機能を併せ持った複合施設なんだって！花園地区の新しい拠点の誕生だね♪



◀吹き抜けがあって明るいエントランスホールを抜けると、1階には公民館と総合支所の事務室が向かいあわせであるんだ。市役所の機能が1か所に集中していると、すごく便利だね。たくさんのかたにどんどん利用してほしいなあ。



▶ここはだれにでも使いやすいユニバーサルデザインっていうのも取り入れていて、太陽光発電もあって、人にも地球にもやさしい施設だね。広～い体育室もあって、いろんな活動の場として使っていきたいね♪



ふっかちゃんのつぶやき



1月26日（日）の『深谷ねぎまつり』にふっかちゃんも遊びに行くので、みんな遊びに来てね～♪ Y(o0w0o)Y